

100%市民派・中川健作の

# 市議会かわらばん

2007年8月  
(第71号)

(連絡先)  
米子市政研究会  
米子市内町 53  
TEL(0859)33-6475  
FAX(0859)23-0268

ご意見をお寄せ下さい

(ホームページ) <http://www2.sanmedia.or.jp/nakagawa/> (メールアドレス) [nakagawa@sanmedia.or.jp](mailto:nakagawa@sanmedia.or.jp)

**6月議会** (6月7日～29日)  
**の報告をお届けします**



この夏は大変な猛暑でしたが、いかがお過ごしでしょうか。新潟県中越沖地震、参議院選挙での自民党惨敗など、いろいろなことがあった夏も終わろうとしています。大幅に遅れてしまいましたが、6月議会の報告をお届けします。

## 市民スポーツ活動の衰退が心配

継続審査中の体育施設使用料値上げ条例、賛成多数で可決。

公民館スポーツ教室の減免陳情も不採択。

高校生が利用している東山庭球場使用料の二・五倍という急激な値上げなど、三月議会に提案された体育施設使用料改定条例に対して、段階的値上げによる激減緩和措置や高校生や高齢者などへの減免措置を検討すべきとして、議会は継続審査にしました。

六月議会で当局から検討結果の説明がありました。その内容は、①激減緩和措置は行わず、②中学生以下は一般の二分の一とするが、高校生については高体連主催の大会のみ無料とし、日常の使用については一般と同一料金とする、というも

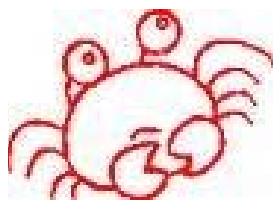
のでした。

東山庭球場を例に取ると、高校生が一月月に二十五日、毎日部活で三コートを利用した場合、五十六万七千円から百四十万四千円と、一年間で八十三万七千円の負担増になります。鳥取市では、高校生までは減額していますし、また、土・日・祝祭日は無料のところもあります。布勢の県営テニスコートも高校生以下三コート三時間まで無料であり、教育的な配慮がなされています。

議会が継続審査にした意図が全く汲まれていないので、会派「未来」は改めて検討しな

すことを求めて体育施設値上げ条例に反対しましたが、賛成多数で可決されました。

また、六月議会に、「公民館スポーツ教室が体育施設を利用する際の減免措置を継続して欲しい」という陳情が提出されました。公民館スポーツクラブは、身近な場所、大人から子どもまでがスポーツに親しんでおり、市としても積極的に育成していくことが求められています。米子市の介護保険料は県内で一番高く、保険料をいかに抑えるかということが大変大きな課題であり、そのためには、地域スポーツを通じて元気に老いる方策を講じなければなりません。筋力が衰えてから筋力トレーニングをしても遅いのです。ところが、減免措置がなくなると使用料負担が増え、継続できなくなるクラブが少なからず出るだろうと予測されています。減免措置の廃止は、生涯スポーツを振興するという米子市の方針を自ら否定するものです。



十八年度における、公民館スポーツクラブの使用料減免額の総額は、年間二百九十万円くらいです。わずかに二百九十万円の収入と、生涯スポーツの振興と、どちらを優先すべきか、答えは自ずから明らかです。生涯スポーツを推進し、元気な高齢者をつくり、そのことで介護保険財政を健全化するためにも、この陳情を採択するように主張しましたが、賛成少数で否決されました。



「市議会かわらばん」は、中川健作(無所属市民派)の議会報告です。年4回、定例市議会(3、6、9、12月)終了後に発行しています。

毎号御希望の方には無料で郵送していますので、ご連絡下さい。また、内容についてのご意見、市政への提言等お寄せ下さい。出前市政報告会も行っています。少人数でもお申し込み下さい。

六月議会各個質問報告

図書館の充実を求めました

表1は米子市立図書館と県内他市の図書館との比較です。

市民一人あたり蔵書数、資料購入費が一番少ないことが分かっています。表2は文部科学省が示している「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」と米子市との現状を比較したものです。人口十五万人規模の市での望ましい基準が示されていますが、米子市は大変お粗末な状況です。

五月に、社団法人日本図書館協会事務局次長の常世田良氏の講演を聞く機会がありました。①「自己判断自己責任」型社会の前提は正確な情報が公平に提供されるシステムがあること。②地方分権時代において、行政・議会の政策形成能力をアップするためには迅速、正確な情報が求められること。③そのような情報を収集・提供する機関としての、図書館の役割が一層重要になってきていること。④そのことを首長がどのように認識しているかであって、自治体の財政力と図書館予算額は無関係である。など、大変有意義な講演でした。

図書館の重要性に対する認識、市長の図書館政策について質問しました。  
市長の答弁は、「地域を支える情報拠点になるように教育委員会の方でいろいろ考えてもらいながら、協議してまいりたい」というもので、図書館に対する思いや政策は全く語られませんでした。図書館法に基づいて、図書館設置者（市長）はこの基準を満たすように努めねばならず、お粗末な米子市の図書館の現状を引き上げていく責任があります。その点について、重ねて質問しました。

「基準を元に教育委員会とも話し合ってみたい」との答弁でしたので、今後も引き続き、議会で取り上げたいと思います。

また、四月から財政的理由で専任図書館長がいなくなり、生涯学習課長が館長を兼務しています。しかし、生涯学習課長は非常に忙しく、ほとんど図書館に来てないということですが、これまで、米子図書館長は非

常勤職員であったために、議会や教育委員会、庁内の幹部会、庁議などに出席して積極的に状況を説明できず、財政に直接予算要求もできないので、増やさなければいけない図書費を削られたりしてきました。県内でも蔵書数や利用状況が秀でている図書館は正規職員が専任館長で配置され、頑張っています（鳥取県、鳥取市、倉吉市、湯梨浜町、琴浦町、南部町、大山町など）。  
課長級以上の権限を持つ職員を館長に配置することを求めました。  
「現在、生涯学習課長は兼務と

(表1)県内他市との比較

(平成18年度)

		米子市	鳥取市	倉吉市	境港市
施設	人口 (H19.3月末)	151,103	199,448	51,887	36,771
	床面積 (㎡)	1,969	5,423	2,771	1,297
	図書収納力(万冊)	14	60	32	7
職員	専任職員		14		
	兼任職員	1			
	非常勤職員	1	22		7
	臨時職員		2		
	委託・派遣職員	12			
蔵書	蔵書冊数	253,270	442,604	188,965	130,393
	うち開架図書	124,933	291,816	121,505	-
	うち児童書	50,358	105,759	42,690	32,186
	年間受入図書	9,864	22,246	8,238	4,199
	うち購入図書	8,491	18,903	5,470	3,412
	住民1人当たりの冊数	1.7	2.2	3.6	3.5
貸出	個人登録者	47,173	37,212	26,534	4,197
	個人貸出冊数	302,235	786,362	368,669	77,970
	予約(リクエスト)件数	15,611	58,624	19,428	2,988
	団体貸出冊数	47,708	108,173	15,588	4,140
経費	人件費を除く経費	43,731,000	112,520,000	49,637,515	26,968,000
	資料費	16,715,000	39,360,000	11,507,350	6,617,000
	住民1人当たりの資料費	111	197	222	180

(表2)公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準・基準値

(平成19年度)

	基準値	米子市の現状	単位
図書館数	4	1	館
延べ床面積	6,434	1,969	㎡
職員数	29	14	人
うち司書数	15		人
蔵書冊数	580,044	253,270	冊
うち開架冊数	335,476	124,933	冊
図書年間購入冊数	35,434	8,491	冊
雑誌年間購入冊数	549		冊
新聞年間購入冊数	57		種
映像資料数	7,557		点
聴覚資料数	13,754		点
登録者数	99,433	47,173	人
貸出点数	1,679,228	302,235	点
図書館費	416,864,185	86,291,000	円
うち資料費	59,654,725	14,372,000	円
うち図書費	43,845,258	13,000,000	円

「雇用期間を延長する考えはない」との教育長答弁でしたが、納得できません。あらためてこの問題は取り上げたいと考えています。

また、来年五月で十年間の任用期間が切れる学校図書館職員の任用期間見直しも求めました。経験を積んだ優秀な人材を失うことは、子どもたちにとって大変不幸なことであり、研修などを行い公費を投資して図書館員を養成してきた米子市としても、あらためてゼロから投資を行わねばならず、財政的にも無駄です。岡山市等では図書館非常勤職員の任用期間制限がありません。

その他、図書館協議会委員に公募枠を設けるべきという提案に対しては、前向きに検討するとの答弁でした。

# 中海・森山堤防のみ開削で、治水効果は？

干拓堤防が建設されてから弓ヶ浜半島沿いの海水面が上昇し、排水不良や地下水位上昇による農地被害がひどくなっています。治水対策のために、森山堤防だけでなく大海崎堤防の開削も必要であると、米子市も議会も国や県に要請し続けてきましたが、残念ながら、農水省は森山堤防を六十メートル削るだけで撤退を決めました。地元の懸念に対して、当時の片山知事は、農水省撤退後は両県で水質や治水についてのモニタリングを行い、その結果によっては（森山堤防の六十メートル削削だけで水質・治水に効果が少ない場合）両県で大海崎堤防開削に対処するという一方で、昨年一月三十一日に両県知事の確認書が締結され、それを受けて、中海水質改善対策協議会が設置されました。

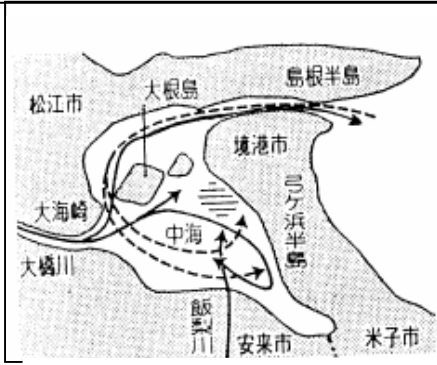
ところが、去る五月二十九日に開催された第二回協議会で、角副市長が「米子市として、水位上昇による農作物被害も検討項目として含まれると考えているので取り上げていただきたい」と発言したことに対して、鳥取県の沢田生活環境部次長は、「協議会の検討項目に治水とか農業被害とか地下水とかは入っていない」と否定しました。

そこで、中海水質改善対策協議会設置目的についての米子市の認識と、今後どのような取り組みを考えかを質問しました。「片山知事（当時）が、水質以外に治水の問題についてモニタリングしていく、そのための協議機関を設けるという話を記者会見しているのです、私どもは治水の問題についてもモニタリングされるものと理解している。引き続きそういう観点での検討がされる場であるとの主張をしていきたいと考えている。」との市長および副市長の答弁でした。

半世紀にわたって中海を調査されてきた故岸岡務さんによると、中海では表流水（河水）は右回りに、底層水（海水）は左回りに流れ、宍道湖からの表層水の三割以上は本庄水域から境水道に出ていたとのことです。しかし、干拓堤防建設

によって、海水の流入は中浦水道からだけになり、表層水も中浦水道に集中し、それが原因で弓ヶ浜沿いの潮位が慢性的に上がり、その結果地下水を押し上げ、農作物被害が出ていると考えられます。

昨年七月豪雨で塩分濃度が下がり、中海と境水道のアサリが全滅しましたが、西部承水路のアサリは入り口で八十%以上、内側では八十七%の生息が確認されました。つまり、洪水は本庄水域にはほとんど流れ込まなかったということです。治水上の観点からも、大海崎堤防を開削して本庄水域方面に大橋川からの表流水を流してやる必要があります。森山堤防だけの開削で治水効果があるのか、詳しくモニタリングを行うよう求めたいと思います。



堤防建設前の中海の流れ

..... は海水、—— は河川水の流れ

## 主な議案・陳情に対する全議員の賛否一覧

- ①米子市体育施設条例の一部を改正する条例
- ②地方税制改正に伴う住民負担増の軽減についての陳情
- ③生活保護世帯の「自動車保有の制限を緩和」する国への意見を求める陳情
- ④最低賃金法の抜本改正と均等待遇の実現を求める陳情
- ⑤体育施設使用料減免措置継続を求める陳情

会派	氏名	①	②	③	④	⑤	会派	氏名	①	②	③	④	⑤	会派	氏名	①	②	③	④	⑤
新風	岩崎 康朗	○	○	○	×	×	未	来	伊藤ひろえ	×	○	○	○	公明党	原 紀子	○	×	×	×	×
"	竹内 英二	○	○	○	×	×	"	門脇 邦子	×	○	○	○	○	"	安木 達哉	○	×	×	×	×
"	谷本 栄	○	○	○	×	×	"	<b>中川 健作</b>	×	○	○	○	○	"	安田 篤	○	×	×	×	×
"	中田 利幸	○	○	○	×	×	"	森 雅幹	×	○	○	○	○	共産党	岡村 英治	×	○	○	○	○
"	中村 昌哲	○	○	○	×	×	"	八幡 美博	欠	席				"	松本 松子	×	○	○	○	○
"	野坂 道明	○	○	○	×	×	新政会	尾沢 三夫	○	○	○	×	×	明正会	中本 実夫	○	×	×	×	×
"	松田 正	○	○	○	×	×	"	藤尾 信之	○	○	○	×	×	一院クラブ	遠藤 通	○	○	○	×	×
"	吉岡 知巳	議				長	"	松井 義夫	○	○	○	×	×	誠心	宮田 誠	○	×	×	×	×
"	渡辺 穰爾	○	○	○	×	×	"	矢倉 強	○	○	○	×	×	創政会	内田 隆嗣	○	○	○	×	×
"	渡辺 照夫	○	○	○	×	×	公明党	笠谷 悦子	○	×	×	×	×							

※「中川健作の FAX・メール通信」を随時発行しています。御希望の方は、FAX 番号・メールアドレスをお知らせ下さい。

# 柏崎刈羽原発以上に危険な島根原発

## 島根原発の運転停止、増設中止、プルサーマル計画の撤回を

七月十六日に発生した新潟県中越沖地震は、柏崎刈羽原発に甚大な被害をもたらしました。その結果、ヨウ素やコバルトなどの放射能が外部に洩れ、放射能を含む水が海に流れ出しました。幸い、なんとか緊急停止することができたものの、一歩間違えば炉心熔融という最悪の事故につながりかねなかったと言われています。柏崎刈羽原発の真下に活断層が走っていることは従来から指摘されてきましたが、電力会社も国もこの事実を認めず原発建設を強行したことが、今回の事故を招いた原因です。

今回の地震では震源から原発が9kmと近く、マグニチュードが六・八と大きかったため、設計値を上回ったとされています。しかし、島根原発では、専門家の調査によって活断層の長さは二十kmを超えることが明らかになり、マグニチュード七クラスの地震が予想されています。しかも、震源からの最短距離は二kmしかなく、地震が起これば柏崎刈羽原発を大幅に上回る被害が生じる危険性があります。

だが、中国電力も国もこの事実を認めようとせず、三号機増設とプルサーマル計画を強引に進めています。一刻も早く原発をとめ、詳しい活断層調査や耐震安全性チェックを行い、三号機増設とプルサーマル計画は白紙に戻すべきです。

### 【プルサーマル計画】

ウランとプルトニウムを混ぜた燃料を一般の原子炉で燃やすこと。制御棒の効きが悪くなるなど危険性が高く、世界各国でもほとんど実施されていない。事故で放射能が放出された場合、米子は100%の人が死んでしまうという専門家の計算がある。

### 島根原発活断層勉強会

9月15日(土) 午後1時30分～  
島根県民会館303号室(松江市)  
講師：徳岡隆夫島根大学名誉教授

活断層調査に参加された徳岡先生に、中国電力の活断層評価の間違ひを話していただきます。興味のある方はぜひご参加下さい。

### 島根原発裁判にご支援をお願いします

1・2号機は活断層がないことを前提に建設されましたが、3号機増設に伴う調査で活断層が発見されました。活断層が見つかった以上、1・2号機をとめるのが当然です。1999年に、私も含めて140人の原告が1・2号機差し止め訴訟を起こしました。

裁判の中で中国電力のでたらめぶりがいくつも明らかになっています。専門家は、「わざと活断層を避けたトレンチをしているのではないか」と指摘しています。一日も早く原発を止めないと大変なことになってしまいます。

多額の裁判費用に、カンパをお願い申し上げます。  
(郵便振替番号)0140-8-8297 (口座名)米子市政研究会  
「原発裁判カンパ」と書いてお送り下さい。



建設中の3号機。右は1・2号機の排気塔

### 議員報酬会計報告 (2007年4月～6月)

(収 入)		(支 出)	
前月からの繰り入れ	70,670	議員共済掛け金	265,275
議員報酬	1,320,000	所得税	152,150
44万円×3ヶ月		住民税(1.2期)	204,900
期末手当	985,600	国保料	178,000
カンパ	3,000	印刷費	15,930
合計	2,379,270	通信費	280
※カンパをお寄せいただき、ありがとうございました。		資料代	8,985
※議員報酬会計の使途は常に公開しています。		活動費	166,980
		中川生活費	1,250,000
		(25万円×3ヶ月+一時金2ヶ月)	
		次月繰越金	136,770
		合計	2,379,270

### 9月議会の日程

4	本会議(議案上程)	14	総務企画委員会
6	本会議(各個質問)	18	市民福祉委員会
7	本会議(各個質問)	19	経済教育委員会
10	本会議(各個質問)	20	建設環境委員会
11	本会議(各個質問)	25	予算審査特別委
13	予算審査特別委	27	本会議(討論・採決)

※本会議は午前10時、委員会は午後1時(予算審査特別委は午前10時)開始。自由に傍聴できます。  
※請願・陳情の締め切りは8月31日正午です。  
※中川の質問日はお問い合わせください。